記者発表

平成２４年　８月　９日
青森河川国道事務所

# ２年連続、ダム緊急放流実施を確認！
## 岩木川水系渇水情報連絡会（第２回）を開催

岩木川水系においては、７月下旬以降まとまった降雨がなく、岩木川の流量、目屋ダムの貯水量も減少してきており、今後、岩木川から取水する利水者への影響が懸念されることから、渇水情報連絡会を開催しました。
連絡会においては以下の内容が確認されました。

確認事項

① 岩木川流域の農業用水確保のため、番水制実施に最低限必要な量として、目屋ダムの最低水位（１６０ｍ）を下回ることが確実となった場合に、目屋ダムから３$m^3$/s、相馬ダムから１$m^3$/sの緊急放流を開始する。

② 弘前市水道について、岩木川からの取水が困難になった場合には、浅瀬石川ダムから取水している津軽広域水道企業団からの受水量を増量する。

③ 今後、岩木川の水量が更に低下または目屋ダム、相馬ダムからの緊急放流不能の事態が想定された場合には、渇水情報連絡会を実施し、更なる渇水調整を実施する。

なお、岩木川の渇水情報については当事務所ホームページにて公開しております（参考３）。

青森河川国道事務所ホームページ
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/

また、本記者発表資料についても、当事務所ＨＰに掲載していますので、カラー資料についてはそちらをご確認ください。

発表記者会 ： 青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
電話　０１７－７３４－４５９０（ダイヤルイン）

河川管理課　課長　　熊谷　泰彦（内線３３１）
河川管理課　管理係長　　宇野　高人（内線３３２）

＜参考１＞

■ダムの現在の状況

●目屋ダム
８月９日　９時００分現在
貯水位：　１６２．７９ｍ$^3$/ｓ
流入量：　　０．００ｍ$^3$/ｓ
放流量：　　４．６１ｍ$^3$/ｓ
貯水率：　約１５％

●浅瀬石川ダム
８月９日　９時００分現在
貯水位：　１７９．９５ｍ$^3$/ｓ
流入量：　　１１．０８ｍ$^3$/ｓ
放流量：　　１３．３９ｍ$^3$/ｓ
貯水率：　約６８％

※　目屋ダム・浅瀬石川ダムの貯水位の状況等については別紙－１、別紙－２のとおり
※　津軽ダムの渇水における効果（試算）については、別紙－３のとおり

■岩木川の流況（８月９日　午前９時現在）

①観 測 所 名　　上岩木橋観測所
・基準流量　　２．２９６ｍ$^3$/ｓ　（５カ年平均渇水流量）
・現在の流況　　１．８０ｍ$^3$/ｓ

②観 測 所 名　　五所川原観測所
・基準流量　　１９．０　ｍ$^3$/ｓ　（正常流量）
・現在の流況　　１９．７７ｍ$^3$/ｓ

＊「基準流量」とは、
渇水対策支部設置の基準となる流量であり、上岩木橋観測地点では５カ年平均渇水流量、五所川原観測地点では正常流量を基準としている。
＊「渇水流量」とは、
１年を通じて３５５日はこれより低下しない水位で、この時の流量です。
＊「正常流量」とは、
魚類の生息状況、河川の環境、水質等を総合的に判断し、河川の維持に必要な流量です。

＜参考２＞

# 岩木川水系渇水情報連絡会　参加機関一覧表

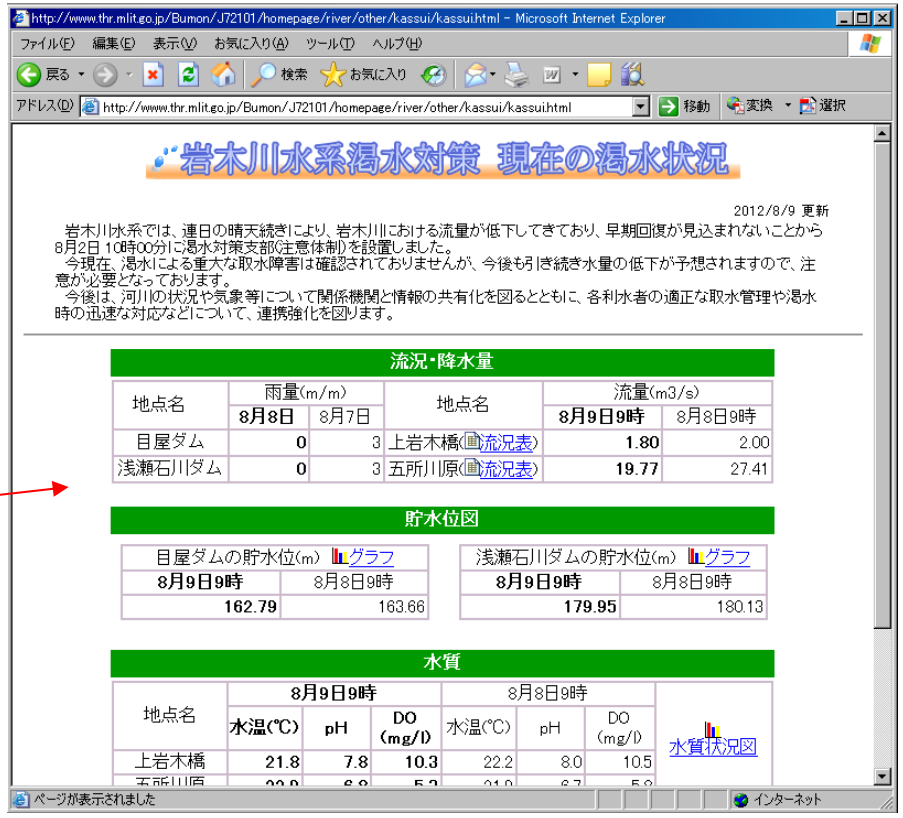
・青森県　県土整備部　河川砂防課
・　〃　　健康福祉部　保健衛生課
・　〃　　環境生活部　環境政策課
・　〃　　農林水産部　農村整備課
・　〃　　農林水産部　農産園芸課
・　〃　　農林水産部　水産局　水産振興課
・　〃　　西北地域県民局　地域整備部　河川砂防施設課
・　〃　　中南地域県民局　地域整備部　河川砂防施設課
・　〃　　〃　　地域整備部　目屋ダム管理所
・弘前市　上下水道部　上水道施設課
・五所川原市　上下水道部　水道課
・津軽広域水道企業団　津軽事業部　浄水課
・　　〃　　西北事業部　施設課
・久吉ダム水道企業団
・東北電力（株）青森支店
・青森地方気象台
・東北農政局　津軽農業水利事業所
・　〃　　北奥羽土地改良調査管理事務所
・東北地方整備局　浅瀬石川ダム管理所
・　〃　　津軽ダム工事事務所
・　〃　　青森河川国道事務所

<参考3>

# 岩木川渇水情報HP

http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/

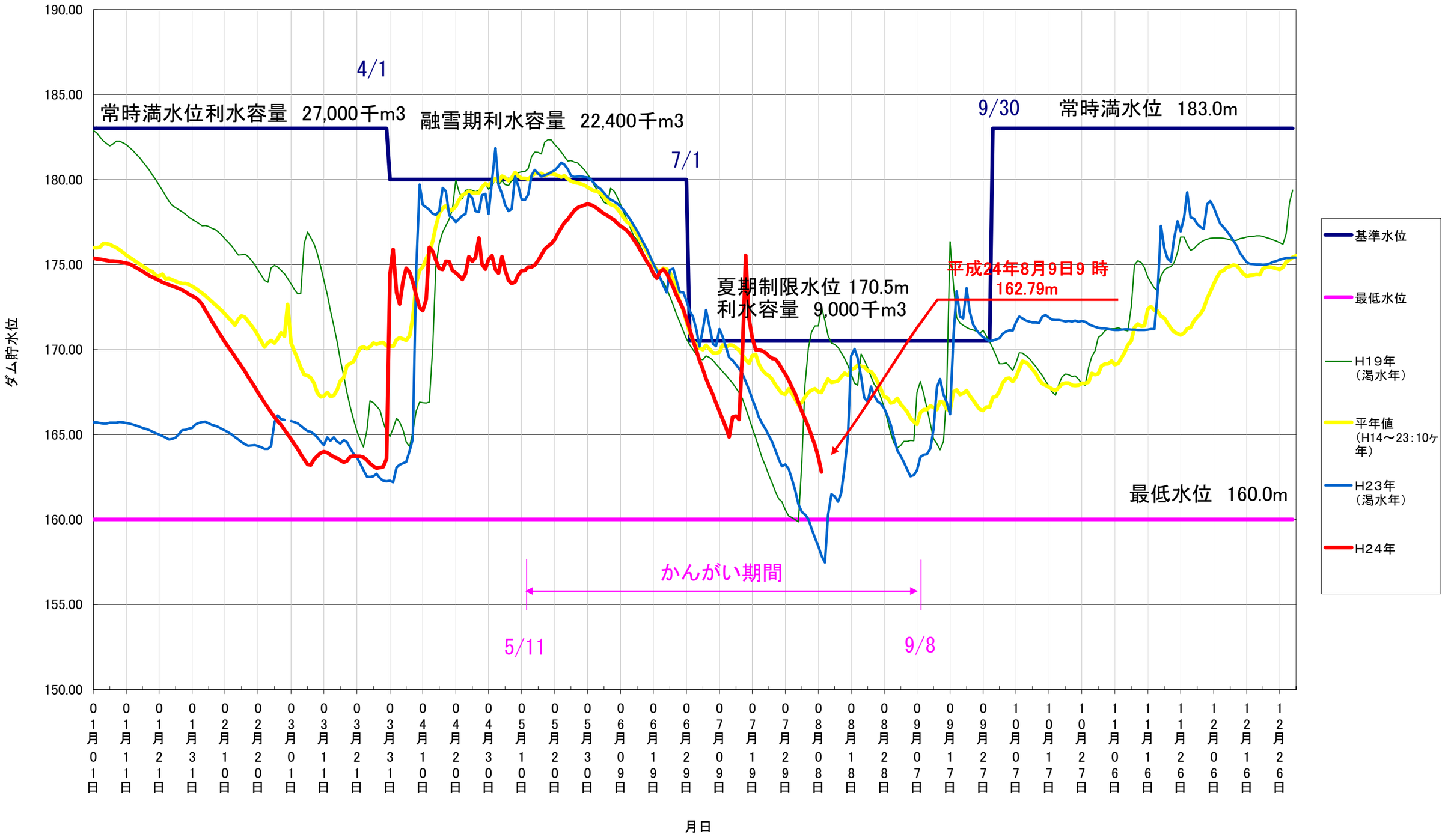


別紙－1

# 目屋ダム年間貯水位図
（平成24年8月9日9時まで）

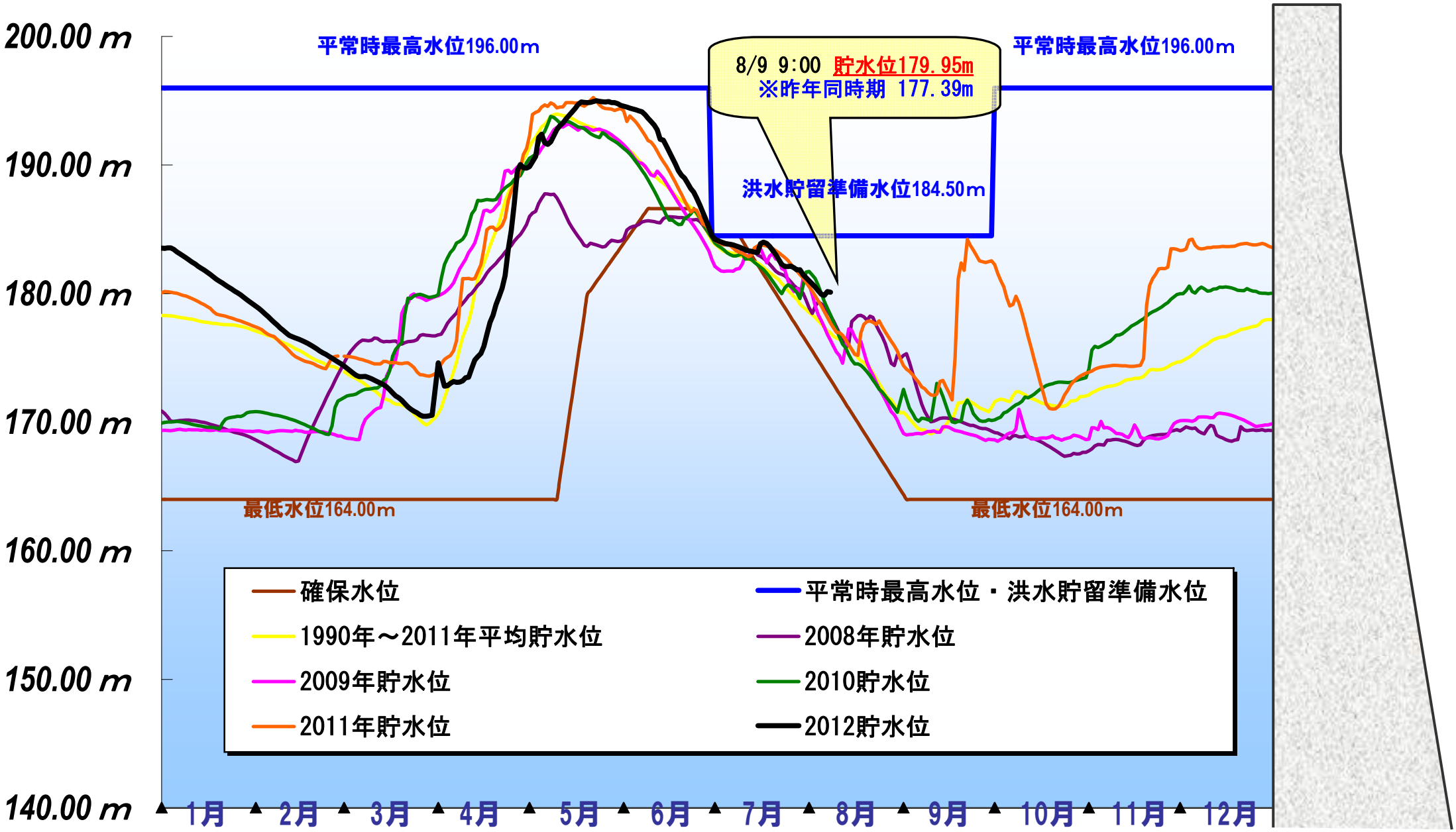
青森県河川砂防課
平成24年8月9日



別紙－2

# 浅瀬石川ダム貯水位

2012.8.9 9:00現在



# 岩木川水系渇水（注意体制）時の浅瀬石川ダムの現状

流入量　：　約11.8m3/s

浅瀬石川（ダム上流）　：　約7.5m3/s
二庄内ダムからの放流　：　約4.3m3/s

放流量　：　約13.3m3/s

発電水量　⇔　灌漑水量　：　約12.0m3/s
上水道　：　約1.2m3/s
農業取水（単独）　：　約0.1m3/s

放流量－流入量＝1.5m3/s

朝日橋地点　：　約4.8m3/s
（維持流量　：　2.2m3/s）

浅瀬石川ダムの現状（平成24年8月8日9時現在）

① ダムの貯水容量を活用し流入量よりも約1.5m3/s多く放流しています。
② 貯水位の状況から、今後1~2m3/s（当面2m3/s）増量して放流することが可能です。
③ 仮に8月末まで雨が降らなかったとしてもかんがい用水及び上水道に必要な放流量を維持できる見込みです。

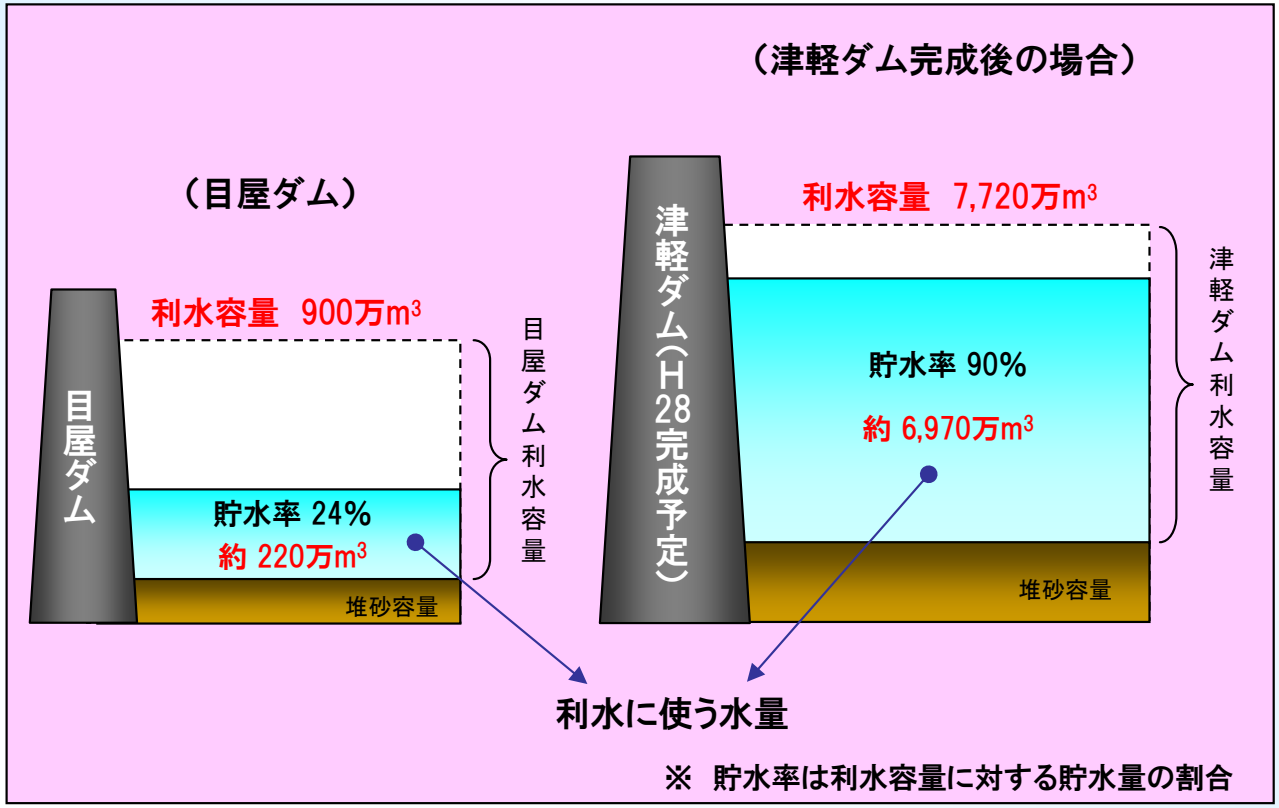
# 津軽ダムができると・・・渇水への効果

別紙－３

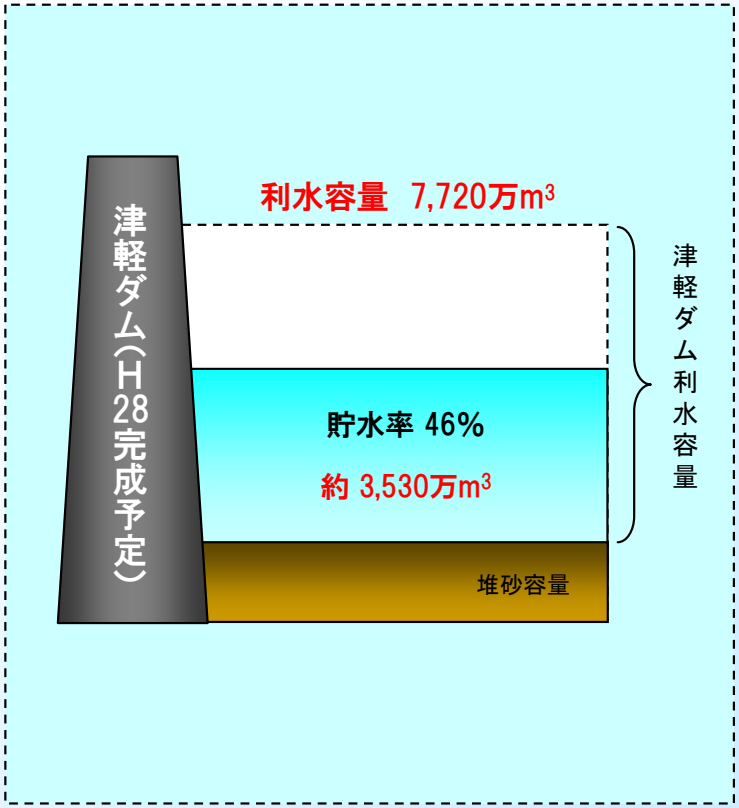
## 平成24年渇水における津軽ダムの効果（試算）

平成24年8月8日時点における、津軽ダム完成後の貯水量を試算すると、計画利水容量7，720万$m^3$に対して、約6，970万$m^3$（貯水率約90%)の容量が確保されており、今回と同規模の渇水が発生しても**安定的な供給が可能**であると考えられます。

### 平成24年8月8日時点の貯水量




### （参考）平成23年8月渇水の場合



# 目屋ダム･岩木川の渇水状況















# 番水の状況




現在　番水期間中です
番水日程表
長瀬堰
通水月日・午前６時～午前６時
1 8月10日～8月11日
2 8月15日～8月16日
3 8月20日～8月21日
4 8月25日～8月26日
5 8月30日～8月31日
通水月日・午前６時～午前６時
9 9月　4日～9月　5日
10
2日間（48時間）交替
上記月日以外の取水を禁止します。
関係者各位のご協力をお願い致します。
水の有効利用に努め掛け流しはやめて下さい。
■長瀬堰土地改良区　82－3138
■岩木川地区土地改良区連合　32－3053